

そろそろ新緑の季節となりました。新年度になり、何かと忙しい時期かと思いますが、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

いつも申しますがこの会は、色んな形でご参加いただいたら良いと思っています。毎回例会に来るもよし、会報を読んで想像するもよし、ひょっこりたまに例会に参加するもよし、ご自分のしたいことを会員の方々に呼び掛けるもよし、自分の宣伝するのもよし…。とはいえ、そんなつづやきも、メールなど何等かの形でお声を聴かせていただければうれしく思います。ご提案やご意見もいつもお待ちしております♪。

- 目次
1. 前回例会報告
 2. 伝言板
 3. 次回例会案内(次回は5/12。会員の井上みちよさん宅(鞍馬口)で行いますよ。)
 4. 編集後記

1.第5回例会報告

「京都音楽療法研究会」 第5回例会

○日 時 : 2013年3月31日(日) 13:30~16:30 ※受付 13:10~

○会計報告

参加費 : 60円×10名=600円 集金合計 600円

経 費 : 場所代 400円+資料代 200円 経費合計 600円

○場 所 : 東山いきいき市民活動センター1F 会議室1

○参加人数 : 10名

○話題提供者 : 北田 朋子

○内 容 : 「グループを、ひっぱらずにみんなで生き生きすることについて考える

~PCAGIP(ピカジップ)法という事例検討を通して」

私、北田が興味を持っているものの一つとして「ファシリテーター」という在り方があります。これは、ある集団などにおいて、いわゆるリーダーのように方向を「決める」のではなく、集団のメンバーと同じ目線に立ち、それぞれの持ち味を生かして進んでいけるように「促進する」人というような意味です。なかなか難しいような、案外音楽療法の場面でも皆さんが知らず知らずのうちにやっている場合もあるような在り方かなと思います。

私の大学院での師匠である村山正治先生が開発した事例検討法で PCAGIP 法というのがあります。これは、人間関係や臨床現場におけるさまざまなお困り事を、みんなで考えていくやり方なのですが、その事例を提供した人だけでなくとりまく参加者もいい時間だったなあと思えるということを私自身も体験してきました。これを進めて行く人も「ファシリテーター」と呼ばれています。今回、北田が未熟ながらその役をやってみました。

○感想

《参加者の皆さんより》

PCAGIP 法、ファシリテーターについて、何となくわかりました。結構普段の生活や人間関係にもそういう在り方や考え方、あるよなーと思いました。それを意識するかしないか、それによってまた展開の仕方も変わってくるかとも思います。(S. A)

安心してしゃべれる場があるというのは、とても貴重な時間です。北田さんご自身が昔からそういう存在だったと感じています。(H. Y)

PCAGIP 難しかったです。ファシリテーターはもちろんのこと、ただのメンバーの私ですらなんかむずかしかったです(笑)。次はもうちょっと上手に参加できるかなあと思います。(K. H)

ウワサの PCAGIP 法を体験できて楽しかったです。普段何も考えずする“質問する”ということ意識してすることで、自分の心の中と向き合うこともできました、事例ゼミでは思ったことをもっとポンポン口にするので、そういう点ではだいぶ私にとってはちがいました。PCA ということば、わかったようでやっぱりわかりきってないかも…。(Y. G)

とても興味ある内容になりました!!そしてとても大切なことだと思いました。日常的に色んなことに悩まされ、追われ、置き去りにされてること etc…こういう機会があるとなぜかほっとします。(I. M)

休憩で帰る予定が帰れなかったです。この会の空気が好きです。(K. K)

『ファシリテーター』ことばは知らなかったけど、まさに私が求めていたもの!!仕事でも家庭でもバンドでも、この人のためなら「しゃないな～」と思わず人(笑)。結局は実力がなければ、そんな人物にはなれないかな～ いわばジョージ秋山の漫画『はぐれ雲』の旦那みたいな人。30年以上も憧れ続けていますが(笑)。(T. H)

《北田より…》

参加していただいた皆様、そして、事例を提供して下さった S さん、ありがとうございました。自分がメンバーとして体験していたのと、ファシリテーターという「役割」をやるのとはやはり大違いでした。この PCAGIP (ピカジップ) 法という事例検討法は、従来の事例検討の現場(例えば教員の会議や学会など)で、事例提供者が批判されて「被告」のような扱いになったり、準備が大変だったり「もう事例提供者なんてしたくない!」という人が多かったそうで、そのようなことの対処から生まれたという経緯があります。だから、「ルール」なども「安全な場にするため」とか「事例提供者を被告にしないため」とかから出来てきたのですが、それが頭の隅にあるにも関わらず、コンセプトを大事にするよりも「ルール」を大事にするように伝え過ぎてしまったり、自分自身が不自然になってしまったり…と、たくさん反省することとなりました。終わってからは正直、落ち込んでいたのですが、感想を読ませていただいて、そんなに悪すぎるわけではなかったのかな?ということ(笑)を感じたり、音楽療法界やこの会に適した、役立つ形へのアレンジを考えたらいいなあと思ったり、何等かの形で現場での悩みを軽く相談出来る場が常々あった方がいいなあと思ったり、色々な気づきがありました。(なぜか)「またやってー」という声も 2~3 いただいており、自分の成長のためにも、改良のためにも、また出来たらいいなあと思っています。ありがとうございました。



2.伝言板



コンテ倶楽部「Collage Live FunFun」

下の「次回例会」にありますように、会員の井上みちよさんがされている中高年の歌のサークル「コンテ倶楽部」のライブ(発表会)があります。次回例会はそのリハーサル見学となりましたので、例会～ライブと行かれるとなかなか楽しいのではないかと思います。よかったらぜひお越しください。なお、出演者のご家族やご友人なども(お目当ての方だけでなく)全部を鑑賞される方が多く、席が込み合う恐れがあります(なかなか人気なのです!)。ご了承ください。

日 時:5月19日(日) 17:30 スタート

場 所: ライブハウス・モダンタイムズ

(木屋町三条下ルエンパイヤビル地下1階)

入場料:1,000円(1ドリンク付き)

お問い合わせ:井上みちよ:090-3650-6102

3.次回例会

京都音楽療法研究会 第6回例会のお知らせ

この“ネオ”京都音楽療法研究会となって2年目初めての例会は、中高年の方に歌を「コンテ倶楽部」と名付けたサークルという形で教えておられる、会員の井上みちよさん宅で、「ライブのリハーサル」見学という形でいきます。出演される方々が一曲につき2回ずつ歌われます。実際のリハーサル部屋に入っているのは1~2名ですが、リビングで漏れ聴こえてくる歌をお茶を飲みながら楽しんでいただいたり、ご自分の番を待っておられる方々や終わった方々とお話しいただいたり…とお好きな感じでお過ごしてください。井上さんはじめ、研究会メンバーが何名もバンドとしてお手伝い参加していますが、お話しする時間がほぼありませんので、会員の友寄さんがリビングに居てくださることになりました。パワフルな中高年の方々に元気をもらいに、そして人生がみえる歌になっていくのを体験しに、ぜひお越しください!

日 時: 2013年5月12日(日) 12:00~19:00頃 ※出入り自由

内 容:「歌と人生とおしゃべりと~中高年の方々の歌のライブリハーサル見学」

《井上さんより》

サークル~歌の楽しみを希うひとときを~ 今回で12回目のコンサートになります。

50代から80代までの歌好きメンバーがそれぞれ趣向を凝らして発表します

「FUN FUN live 5月19日(日) 5時半~ ライブハウス・モダンタイムズ」

リハーサルを私の自宅で12日(日) 12時頃から19時頃までオープンハウスにして順次やっております。見学随時OK。バンドスタッフは研究会で一緒してる方々のご尽力で進めております。

どうぞよかったら…御構いはできませんが いらして下さい。コンテ倶楽部のメンバーの励みにもなりますのでよろしくです。

《発案者の友寄さんより》

FUN FUN live には 2010 年、2011 年とバンドメンバーとして訳のわからないままに参加させていただきました。今回の例会で行われるリハーサル、そして本番とで参加者（歌手）の方々が、身も心も衣装も大変身されるのは大いに見所です。其々の方々が選曲された歌には、お一人おひとりの人生が重なっておられるようで、それが見所として反映されていると思いますね♪ ということで、今回のリハーサルを見学される方々は、お時間の許す限り本番も御覧いただいたほうがベストかも知れませんね。

わたくし友寄は今回の例会案の「言い出しっぺ」ということらしいので、リハーサル会場の井上邸に通常の例会時間帯（13:30～16:00）は待機する予定ですので、御気軽にお越しください。

《北田より》

このライブには、初回から参加させていただいております。歌う方の雰囲気やお持ちの力によって、リズムアレンジを変えておられたり、朗読をはさんだりとさまざまな工夫があり、まさにその方のオリジナルな歌となる所にとっても魅力を感じています。メンバーの皆さんの人生がにじみ出る歌は、プロにも出せない素敵さがあるなあとも思います。このリハーサルの日は、「北田が最も集中力を使う日」という大事な日です(笑)。とはいえ、別にピリピリはしていないので、ほんとにお気軽にお越しください。皆さんおしゃべりもお好きなので楽しいと思いますよ！

申 込： 5/8(水)までにメール(研究会宛。上記参照。)or **ハガキ**(畑陽子様宛)にて。

参加費：300 円

場 所：井上みちよさん宅 〒603-8156 京都市北区小山中溝町 30-2 3 階

地図 URL ↓ どちらもほぼ同じです。

http://www.mapion.co.jp/m/35.03535278_135.75848333_9/

<http://www.mapion.co.jp/f/cocodene/view.html?token=7587add946f13e298fac1abcd273c797>

※携帯の方は下側で開けられると思います。開けられるようにならない場合は、携帯メールの「本文転送」→この URL をコピー→ネットの「URL 直接入力」にペーストでやってみてください。それでもわからない場合は、周りの詳しい方に尋ねるか、井上さん宅を知っておられそうな方に尋ねるか、事務局北田まで！

※地下鉄鞍馬口駅北側出口より徒歩約 10 分。紫明通沿い南側のレンガ造りの建物。

京都教育大学付属中学校向かい側。1 階は理容室。

※扉に張り紙をしておきます。入ったらすぐ階段ですので、3 階までおあがりいただき、その玄関からお入りください。わからなくなりましたら、友寄さん携帯(090-3824-34050)までお願いします。

※井上さん宅 [TEL:075-451-4368](tel:075-451-4368) ですが、おそらく出られないかと。北田の携帯電話番号をご存知の方、かけていただいても OK ですが、こちらもおそらく出られないかと思ます(すみません)。

4.編集後記～下関だより～

前は久しぶりの例会参加でした。自分が担当ということはともかく、皆さんとお会い出来、アフターのお茶会を含め色んなお話しをお聞きしたりしたのが、とても楽しい時間でした。

この「音楽療法」という世界は、様々なジャンルと関わっています。実際にセッションをするために即座に役立つことだけではなく、少し離れていたり違うように思えたりしていても何かしらつながっていくように思います。先日は、Iさんから京都のシャンソニエ(シャンソンを歌ったり聴いたりする場所)のことについて伺い、そこからシャンソン文化についての話になりました。また、Kさんからは、緩和ケアとそれに関わるあるお医者さんのことを、思いをまじえてお話しいただき、その場に居たみんなまで深くうなずきました。会員の皆さんもそれぞれ関わっておられることや思っておられることが色々あるんだろうなあと思います。いつかぜひあなたのお聞かせください。もしくは、会報やHPに投稿してください。5行でも1行でも良いですので！